

# 三稜

<http://www.ebetsu-city.ed.jp/daisan-t/>

令和5年10月5日発行

## － 校訓 －

敬愛 責任 勤労

「勤労を貴び、責任ある行動をし、敬愛される人になろう」

## － 学校教育目標 －

- ・意欲的に学習に向かい、粘り強く課題を追求する生徒
- ・自他を敬愛し、豊かな心をもつ生徒
- ・物事を正しく判断し、責任ある行動がとれる生徒
- ・働く喜びを感じ、心身ともに健康な生徒

## 保護者アンケートの結果について

7月に保護者の皆様にご協力いただいたアンケートの結果をお知らせします。皆様のおかげで目標を超え、回収率77.6%となりました。現在、保護者の皆様のご意見や生徒のアンケート、教職員による自己評価を踏まえ、教育活動の見直しと改善に努めているところです。12月にも同様のアンケートを行いますので、改めてご協力をお願いします。

### ○保護者アンケート結果

No.	評価内容	評価割合				良傾向回答割合
		4	3	2	1	
1	お子さんは、安全や健康に気をつけながら生活している。	51.7%	42.8%	4.5%	1.0%	94.5%
2	学校は、将来の職業や自分の進路についての指導に取り組んでいる。	24.4%	54.7%	16.4%	4.5%	79.1%
3	お子さんは、予習や復習に取り組むなど、意欲的に授業に参加している様子がある。	27.0%	42.0%	23.0%	8.0%	69.0%
4	学校は、お子さんにとって分かりやすい授業を行っている。	25.5%	53.0%	18.0%	3.5%	78.5%
5	お子さんは家庭学習(塾などでの学習も含む)に積極的に取り組んでいる。	20.4%	38.8%	26.9%	13.9%	59.2%
6	お子さんは、よく考え、自分の考えを表現している。	23.4%	49.8%	22.4%	4.5%	73.1%
7	テスト対策プリントや希望制の放課後学習など学校の学習サポート事業はお子さんの学習に役立っている。	28.4%	46.3%	19.4%	6.0%	74.6%
8	お子さんは中学校での生活・授業を経験する中で、思いやりの心など道徳心が高まっているように感じる。	34.8%	53.2%	10.0%	2.0%	88.1%
9	学校は、積極的にいじめ防止や早期解消の取組を行っている。	33.3%	52.5%	10.1%	4.0%	85.9%
10	教員は、生徒の話を聞いたり、悩みに答えたりなど、相談にしっかり対応している。	40.6%	46.7%	10.2%	2.5%	87.3%
11	お子さんは、あいさつや場に応じた言葉づかいをしている。	48.3%	45.3%	6.0%	0.5%	93.5%
12	お子さんは、きまりを守って規則正しい学校生活を送っている。	47.8%	42.3%	6.5%	3.5%	90.0%
13	学校は、行事や生徒会活動を充実させ、生徒が意欲を持って生活できるようにしている。	40.2%	51.8%	7.0%	1.0%	92.0%

No.	評価内容	評価割合				良傾向回答割合
		4	3	2	1	
14	お子さんは、意欲的に部活動に参加している。(お子さんが入部しているご家庭が回答)	67.2%	21.3%	6.3%	5.2%	88.5%
15	お子さんは、周囲とかかわりを持ち、よい人間関係をつくろうと意識している。	46.7%	41.7%	8.0%	3.5%	88.4%
16	お子さんは、家庭で新聞や本などの読書に取り組んでいる。	20.9%	21.4%	34.8%	22.9%	42.3%
17	お子さんは、家庭でのルールを守って、SNSやゲーム、動画視聴をはじめとしたインターネット環境を使用している。	32.3%	34.8%	25.4%	7.5%	67.2%
18	「よくわかる三中校区小中一貫教育」や、学校だよりやホームページなどで発信される情報で、小中一貫教育の様子がわかる。	32.7%	46.2%	18.1%	3.0%	78.9%
19	学校だよりや学級通信、学校ホームページやマチコミメールなどで学校の様子がわかる。	54.5%	36.5%	7.5%	1.5%	91.0%

## ○保護者の皆様のご意見から

- ① 制服について、LGBT 対応のものへの変更を求めのご意見を、これまでも多数いただけてきました。学校で検討を重ねた結果、令和7年度の新入生（現在の小学校5年生）より、制服を変更することとしました。ブレザータイプの制服に変更予定です。現在、制服業者の選定中です。詳細が決まりましたら改めてお知らせいたします。
- ② 部活動について、活動を通じて子どもの成長を実感している声や感謝の言葉をいただく一方で、指導や活動について厳しいご意見も多くいただきました。反省すべきこと・改善できることにしっかり取り組みつつ、部活動ガイドラインを遵守して活動を進めて参ります。
- ③ 授業について、授業で聞いた話から社会情勢に興味を持つようになった、視野が広がった、勉強するようになったなど、感謝の言葉をいただきうれしく思う一方、教え方がわかりにくい、難しいとのご意見もいただきました。今年度の全国学力・学習状況調査（裏面に結果と分析を載せています）や他のテスト等の結果を分析し、全職員で改善点を確認しています。今後も三中の生徒に学力が身につく授業の改善を一層進めて参ります。
- ④ 子どもたちに計画的な学習と生活の習慣を身につけさせることを目的に、今年度から導入したフォーサイト手帳について、子どもの成長に効果があったとの声を多数いただきました。今後も指導を進めて参りますが、まだ十分に活用できていない子どももいるようです。ご家庭でもお子さんのフォーサイト手帳をご覧になり、助言していただくと助かります。
- ⑤ いじめ問題を含め、子ども同士の人間関係づくりについて、感謝の言葉をいただく一方、子どもたちともっと向き合ってほしいとの厳しいご意見もいただきました。真摯に受け止め改善に努めてまいります。ご家庭でも、子どもの表情や行動の変化に不審を感じる場合がございます。ご相談下さい。
- ⑥ 校外生活について、特に自転車の危険走行についてご指摘を受けました。学校も指導を継続しますが、ご家庭・地域の方にも指導していただくと助かります。
- ⑦ 学校の施設面のご要望も多くいただきました。学校からも市に要望しているところですが、なかなか難しいようです。学校で工夫できることは今後も工夫を重ねて参ります。

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果について

本年4月に3年生を対象に実施いたしましたこの調査について、本校の結果をお知らせします。この調査結果を受け、分析と考察を行い、学習指導や授業改善に取り組んでおります。ご家庭でもお子様の指導等の参考にしていただければと思います。

## 1. 学力検査正答率の結果から（全国平均との比較）※英語は3年ごとの調査となっています。

- 国語：全国平均と比較して、同様である。
- 数学：全国平均と比較して、やや下回っている。
- 英語：全国平均と比較して、下回っている。

## 2. 各教科の成果と課題のあった問題（代表的なものを1問ずつ）

### (1) 成果（正答率が全国平均と同等もしくは上回ったもの）

- ① 国語：観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかをみる問題。大問2-2
- ② 数学：四分位範囲の意味を理解しているかどうかを見る問題。大問7(1) ※以下参照
- ③ 英語：文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる問題。大問7(1)

### (2) 課題（正答率が全国平均と比較し、下回っているもの）

- ① 国語：聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題。大問1-4
- ② 数学：複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題。大問7(2) ※以下参照
- ③ 英語：未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる問題。大問9(1) ①

7 イチョウの木の大部分の葉が黄色に変わった最初の日を黄葉日<sup>かようび</sup>といいます。一花さんと啓太さんは、黄葉日<sup>かようび</sup>が以前と比べるとだんだん遅くなっている傾向にあることをニュースで知り、二人が住む地域も同じ傾向にあるのが気になりました。そこで、二人が住む地域の黄葉日<sup>かようび</sup>を調べたところ、1961年から2020年までの60年分の記録がありました。

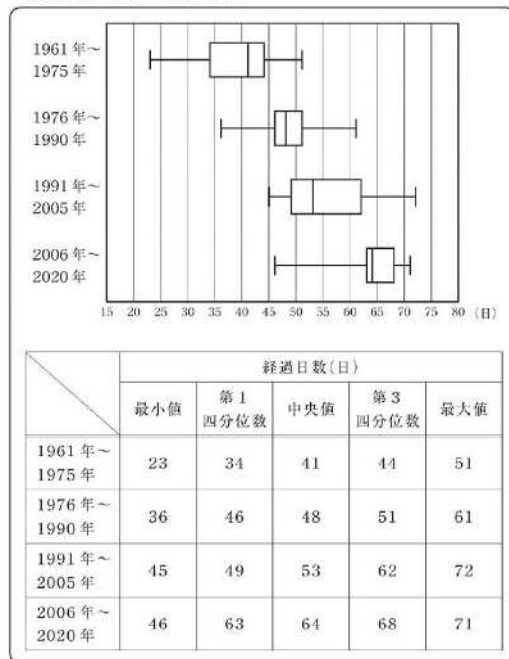
二人は、黄葉日<sup>かようび</sup>の傾向を調べるために、各年の黄葉日<sup>かようび</sup>を9月30日からの経過日数で表すことにしました。このとき、経過日数は10月1日が1日となり、10月31日は31日、11月1日は32日となります。そして、二人は次のような表にまとめました。

年	黄葉日	経過日数(日)
1961	10月23日	23
1962	11月10日	41
1963	11月10日	41
1964	11月13日	44
1965	11月12日	43
⋮	⋮	⋮
2019	12月10日	71
2020	12月4日	65

二人は、上の表を見て、経過日数が年によって大きくなったり小さくなったりしていることに気づきました。そこで、60年分の経過日数を何年かごとのまとまりで分けて箱ひげ図で表し、それぞれの分布の傾向を比較することにしました。

次のページの黄葉日までの経過日数の分布は、15年ごとのまとまりとして1961年～1975年、1976年～1990年、1991年～2005年、2006年～2020年の4つに分けてまとめたものです。

黄葉日までの経過日数の分布



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 1961年～1975年の四分位範囲を求めなさい。

全国平均より上回った問題

全国より下回った問題

(2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。

一花さん「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなっている傾向がありそうだね。」  
 啓太さん「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」  
 一花さん「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」

前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。



(3) 全体を通じて

- ① 成果：基礎的・基本的な知識・技能は有していると言える。
- ② 課題：正確に書くこと、特に条件に合わせて根拠を示しながら表現することに課題がある。

### 3. 学校としての改善策

- ・ 学習の見通しとふり返りのある学習過程の中で、生徒の学習意欲と学力の向上を図ります。
- ・ まとめや発表の場面では「なぜそう考えたのか」など根拠を示して発表できるようにします。
- ・ 一人一台端末など、ICT等の活用により、学びあいを活性化させ、学習事項の定着向上を目指して授業改善を行います。
- ・ 望ましい生活・学習習慣の確立を目的に「フォーサイト手帳」を活用して指導します。
- ・ 放課後を活用した補充学習や宿題、自学課題提示、1人1台端末等を活用した課題などを通じて、個別に最適化された家庭学習の実現を図ります。
- ・ 進路指導とキャリア教育を推進し、生徒が自らの将来について考え、将来の夢や目標を持てるようにします。
- ・ 夢や目標の実現のために、自分の生活上の課題を改善し、主体的に学びに向かおうとする気持ちを高める取組を進めていきます。

### 4. 生徒質問紙による学習状況に関する調査

(1) 全国の回答と比較し、良い傾向の項目（全国比+10%以上の項目）

- ・ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。
- ・ 人が困っているときは、進んで助けていますか。
- ・ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- ・ 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人に相談できますか。
- ・ 友人関係に満足していますか。
- ・ 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか。
- ・ 読書は好きですか。
- ・ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- ・ 1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度活用しましたか。
- ・ 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。
- ・ 国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか。
- ・ 1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか。

(2) 全国の回答と比較し、改善が必要と思われる項目

- ・ 学校に行くのは楽しいと思いますか。
- ・ 学校の授業時間以外に、普段（平日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。→2時間以上と答えた生徒、全国比-15.8%
- ・ 土曜日や日曜日の学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。→2時間以上と答えた生徒、全国比-11.5%
- ・ 1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する場面では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。

### 5. ご家庭へのご協力をお願い

① えべつスマート4ルールを参考に、家庭で特に「メディア利用時間」のルールを確立・見直し

生徒質問紙の結果から、3年生の生徒の半数が学習塾や家庭教師の先生に教えてもらっている時間がある割に、それらの時間も含めた平日・土日の学習時間が2時間以上にならない生徒が多いことから「自分で目標を定め、その目標達成のために必要な努力を考え実行する力」が足りていないと読み取れます。また、これまでの調査の結果から、長時間ゲームや動画、SNSに時間がとられがちであることもわかっています。これが、学習時間が増えない原因であることももちろんですが、心身の健康の面からも憂慮されます。保護者アンケートとは逆に、生徒の多くは携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について「家庭でのルールを守っている」と考えています。

② 子どもたちが自分自身の意見を語る経験・最後までやりきる経験の積み重ねを

友人関係に満足している、学校にいる大人は相談しやすいなど、学校に肯定的な回答が多い一方、学校に行くのが楽しいと答えた生徒の割合が少ないことが気になります。学校で「友人や仲間と協力して何かを成し遂げる経験」がコロナ禍で制限されたことも一因と言えます。また、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して話す割合が少ないことから、うまく話せない・表現できないときはあきらめてしまう傾向にある生徒が多いようです。ご家庭でも、お子さんが話すときには根気よく最後まで話を聞くなど、最後までやりきらせる経験を積めるよう促してください。